学区・地区婦人会長から 新年度へ向けて

■内山下・辻正子
・総会・支部会・敬老会・一人暮らしの方（八十歳以上）宅へ配食訪問・防災訓練・交通安全教室・あいさつ運動などの見守り活動など、令和六年度も積極的に活動していきたいと思っています。

■弘西・岸本伸子、副会長・福見明美・大河原淑子・天野ひろみ
令和六年度も会員と共に、婦人会活動を楽しみ、人のつながりを大切に、「住んでみたい街、地区、弘西」を目指します。

■清輝・倉田由紀子
本年は新型コロナを乗り越え、さらなる充実した年にしていきたいと思います。自然災害の厳しさも実感させられています。心を一つに、元気で楽しく、みんなのために活動できる年にしたいと思っています。よろしくお願いします。

■鹿田・林祥子
令和六年度は、学区婦人会としての在り方を再度考えながら、より会員同士の絆を深め、地域の中でも今まで以上に、いろいろな方と絆を深める事が出来るように活動をしていきたいと思っております。

■大元・安井貞子
草木が成長し活力旺盛に動く状態が辰年の空想の象徴の年。現在大元学区は発展地区で高齢化の会員より若い世代の方が多く、婦人会員減の状態なので何とかこの辰年の勢いで、会員の増加に努力したいと思っています。

■御野・石原富滋子
世の中が様々に変わりつつあるこの頃、私達が進んでいく方向をしっかりと見定める時期だと思います。婦人会員として人と人とのつながりを大切にし、明るい未来をしっかり見つめ、会員の皆様と一歩ずつ確かめながら今年も過ごしてまいりたいと思います。

■三勲・谷信子
三勲学区の今年の課題は各町内会で婦人会員を引き継いでいく人員の不足があげられます。そこで話し合いやアンケートを中心に活動を見直す年にしたいと思っています。婦人会員もだんだん高齢化し、新たな会員を育成しようと考えてもお仕事をされている方が多い中、どのような活動ができるか一年をかけて議論を尽くしたいと思います。

■福浜・松井春代
本年も健康に留意して、恙無くよい年でありますように願っております。この世の中から「戦争」と言う言葉が無くなる日を祈らずにはいられません。会員相互の親睦をはかりながら学区の行事に積極的に参加、協力することを話し合っています。

■平福・菅沼直子
コロナ規制から解放され、料理教室も笑顔で食事することができました。又、新しい試みで七十五歳以上の方を対象に憩いの場を開催し、演芸・会食を入れて喜んでいただきました。今後共地域の方々が喜んで下さる事をやっていきたいと思っています。

■宇野・川﨑美恵子
地域の婦人会として、地域を大切に他団体と協力していきたいと思っています。皆様とふれあい協力して必要とされる婦人会として頑張ります。よろしくお願いします。

■岡南・平井美代子
地域の皆様に婦人会活動をご理解いただき、多くの方がご参加下さるような元気で楽しい活動を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

■福島・香川智恵
新年度に向けて新しいことは、なかなかできませんが、会員の皆様方の意見も聞きながら、みんなと楽しい婦人会活動ができたら嬉しいです。

■富山・加藤幸代
令和六年の幕明け早々、大変なニュースばかりで気もふさがりがちですが、富山学区は一つ一つの事業を皆なで楽しんで実施できる様、又、地域の皆様が参加しやすい事業である様、取り組んでまいります。福祉・食育・環境・防災・青少年健全育成等々、小さな学区ですが他団体共協力しあい目いっぱい頑張っていきます。

■旭操・平松泰江
コロナも5類に移行され、以前のような活動ができるようになりました。地域に密着し各種団体と連携を取りながら活動しています。学習し行動する婦人会、魅力ある婦人会を目指して笑顔で楽しく活動してまいります。今年こそ飛躍の年に!!

■西・北川貞子
西学区はマンションが建ち並ぶ中、小学校もマンモス校となり地域の交流がなかなか出来にくくなっていますが、地域づくりに貢献できるよう若い人たちを巻き込んだ活動にしたいと願っています。

■三門・田渕和美
地域の団体とのつながりを大切に婦人会としてどのような地域貢献ができるか考えたいと思います。まず婦人会が今まで以上に明るく楽しい会になればと願っています。色々と有意義な活動を実施していきたいと思います。

■竜之口・中塚典子
子育て、仕事、介護の担い手の女性が活動できる工夫が必要と感じています。新年度に向けて風通しよく支えあい活動しやすい婦人会を目指します。学区敬老会と配食、地域交流会を軸に「この地域に住んで良かった」と思える活動をしていきたいと思います。

■高島・西田郁子
新年をむかえて人と人とのつながりを大切に地域の皆に楽しんでもらえる活動を目指し、笑顔の絶えない一年にしたいと思います。

■幡多・市圭子
甲辰（きのえたつ）の年、成功の芽が成長し、その特長を最大限に生かす年、夢や目標が実を結ぶ年であります。活動的で行動力があり多くの人との出会いも経験し、地域に婦人会の絆で深く太い根っこをしっかり張りましょう。まずは楽しき活動であることを第一義に目指します。

■雄神・塩見槇子
元旦の能登半島地震により大変な年明けとなりました。敬老会やふれあい給食等の実施と共に地域の防災についても学び、地域の安全安心や青少年の健全育成に取り組みたいと思っています。笑顔の溢れる学区にしましょう!

■庄内・萩原節子
二〇二四年の早々能登半島地震、心の痛むお正月でした。今年も住みよい地域に、郷土の伝統文化や行事を婦人会で次世代に継承したいと思います。高松地区の「ああ高松城」、生石地区の「生石小唄」の歌と踊り、婦人会先輩たちが建てた戦没者忠魂碑前での慰霊祭の伝統行事です。

■吉備・坂本宏子
令和六年を迎え地域活動にもエネルギーを注げるようになりました。婦人会員の高齢化が進む中、若い世代の住民が多くなり地域事情も次第と変貌を遂げています。長い歴史を持つ婦人会活動は底力で繋ぐ輪を広げていきたいと思っております。

■陵南・森安敏子
高齢化が進み、婦人会活動も難しい状況となりつつあります。しかしながら、地域の皆さんに喜んでいただきたいという思いから、会員一人ひとりが知恵を出し合い、絆を大切にし、笑顔で頑張っていきたいと思います。

■妹尾・森本美智子
新しい一年の新しい日々を強い心と健康な体で大切に過ごしていきたいと思います。明るいニュースを笑顔で見ることができるよう期待しながら心を込めて婦人会活動に取り組みます。

■足守・安富美智子
昨年五月に行動制限が緩和され、婦人会活動も徐々に出来るようになりとても嬉しく思います。高齢化の進む中、会員皆で知恵を出し合い、お年寄りや子供たちに寄り添い楽しく活動していきたいと思います。そして、地元他団体と連携を密にし心のかよう地域作りを進めてまいります。

■大井・井上節子
大井地区婦人会は高齢化が進んでいますが、会員各自ができる事を、できる範囲での参加をモットーに、すし配食のボランティア、会員研修における工場等の視察を中心に会員間の交流も積極的に行い地区のために頑張りたいと思います。

■日近・赤木直子
会員の高齢化・減少の現在、コロナが収束し、例年通りの行事を開催できることを願い、新規会員の募集や地域の皆さんと新しい活動ができることを目標に役員一同、心を一つにして今年も頑張りたいと思います。

■福谷・荒木陽子
地域との繋がりを大切に、会員の皆さんと考えながら楽しく、いつも前向きな婦人会活動となるよう頑張りたいと思います。また、高齢化に伴い会員減少しているなか、婦人会の輪を少しでも広められるよう努めたいと思います。

■御津・成廣倫子
コロナ禍で自粛していた研修旅行を、昨年秋にやっと行うことが出来ました。六年度は、学区敬老会も実施したいと考えていますが、担い手側も高齢化している現状です。他団体とも協力しながら、地域の活性化のためにも頑張っていきたいと思っております。

■御津南・松本佳代子
今年は、敬老会も久しぶりに実施できると思うので今からドキドキしています。会員の皆様と共に笑顔で活動できる一年になるよう頑張ります。

■灘崎・三村久子
灘崎婦人会は限られた少人数で活動しています。行事を通して学習し支えあえる地域の一員としてまちづくりに協力していきたいと思っています。活動を見て婦人会員が増えることを切に願っています。

【ベラタ】

鮮魚店の店先で、透き通ったベラタが春の到来を教えてくれる季節になりました。アナゴの幼魚で高知ではのれそれ、学術的にはレプトケファルスといいます。南方海域から瀬戸内海などに漂ってくるといわれ、体長は約5～10㎝で平べったい形。販売時には10匹程度にパックされています。

軽く水洗いしたら鮮度の高いうちに、酢味噌やポン酢を直前に添えていただくのがよいですね。ベラタの味はほとんど感じられませんが、軽く噛んだ時や、つるんと喉に落ちていく時の食感は、他では体験できないもの。

この他にも、卵とじや茶碗蒸しにすると違った食感を楽しむことができます。

そのうちに…と思っていると、店先から姿を消してしまっているベラタ。「しづ心なくベラタの去るらむ」とお嘆きになる前に、ぜひ。

旬 information 岡山市中央卸売市場

消費の窓【第60回】

点検商法に注意!!

近所で工事をしているという業者が突然訪問してきて、「おたくの屋根が浮いているのが見えた。無料で点検する」と言われたので屋根点検後、屋根の写真を見せられ「このままでは危険だ」と言われたので屋根工事の契約をしてしまった。

被害に遭わないためのアドバイス 岡山市消費生活センター

★ 突然訪問してきた事業者に安易に点検させないようにしましょう。

★ 補修工事の勧誘をされても、その場では契約せず、複数の事業者から見積もりを取るようにしましょう。

★ 大雨や地震、台風などのあとに、火災保険や地震保険を使って無料で修理しないか、と勧誘をしてくる事業者もいます。話をうのみにせず、自分で加入先の保険会社に確認しましょう。

★ 困ったこと、不安なことがあれば、消費生活センターにご相談ください。

岡山市消費生活センター ☎803-1109（平日9～16時）
消費者ホットライン☎188